

年

（この年度中に工事に係る予定は、
同プランは、おおむねをまとめた。

化計画を基に、下水道関連では管渠の修繕を進めてきた。19年度以降は、管渠の修繕から築造に移行する計画だ。

2カ所（鍋田町と駒野町）の実施設計を行う。着工時期については、海部南部水道企業団などと調整を行った後に決定する。

東山小の大規模改修 工事は19、20年度

【瀬戸】瀬戸市は、東山小学校の大規模改修工事に伴う設計を畑中建築事務所（名古屋市中区）に委託した。納期は2019年2月8日。工事は19、20年度の2カ年を予定している。

校舎の老朽化が著しいため、内装と外装の改修と照明の発光ダイオード（LED）化を行う他、給排水設備の更新、屋外トイレと体育館トイレの洋式化を行う。

屋外トイレには大便器3器と小便器2器、体育館トイレには大便器6器と小便器4器が設置されている。

校舎の規模は鉄筋コンクリート造3階一部4階建て延べ5183平方メートル。場所は東山町71。市は、今回の大規模改修の他、校舎への空調機設置も19年度以降に計画している。



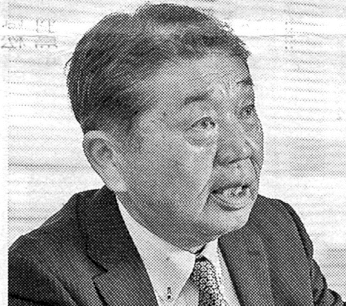
時代に合った協会へ

「地形は変わ
ていく。」

ち上げて、会員のスキルアップを図る考えとアイデアは尽きない。

地域が発展すれば公共事業が生まれるとして迅速な対応がでいう原点に戻る。「地きっている自負がある。域の発展と協会の発展、これらもより一層の展は両輪。地域の発展、コンプライアンスが求なくて協会の発展められる。そのために講習会を継続していく。」

緊急対応も一致団結



春日井建設協会会長

高柳 通さん

「いいものは残しながら、協会を時代に合ったものにしたい」と話す。若い会員が増えてきたため、技術委員会と企画委員会を立

「地形は変わ
ていく。」

「いいものは残しながら、協会を時代に合ったものにしたい」と話す。若い会員が増えてきたため、技術委員会と企画委員会を立

倉庫設置は続けたい。ドライブレコーダーを搭載（名古屋支局）鈴木淳し、通学する予定（一）

総会

全国防草ブロック工業会
防草製品の
売上拡大を



展し、防草製品の普及促進売り上げ拡大を図る。

矢野会長「写真」は、同工業会の「植物の成長メカニズムを利用した防草技術」が、国土交通省インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞したことを報告する

ともに、防草技術の受賞歴を振り返り、「環境負荷低減に大きく貢献する技術として高く評価してもらえようになった」と話した。

総会では、賛助会員による製品プレゼンテーションも行われ、ホーシングが止水防草目地材「スーパーレックス」について、トエエィが多機能造粒砂「サンドウェブ」についてそれぞれ使用事例などを紹介した。

安全大会

無災害で来年再会

豊橋建設工業

豊橋建設工業 豊橋市、河合正純社長は12日、同社の安全協議会・管沼誠会長と合同で、2018年度の安全大会を豊橋市内で開いた。約200人の参加者が無事故無災害を誓った。

岡田建設 豊川市、岡田社長は13日、2018年度の労働安全衛生大会を豊川市内で開いた。約100人が参加し、無事故無災害を全員で誓った。



岡田建設 豊川市、岡田社長は13日、2018年度の労働安全衛生大会を豊川市内で開いた。約100人が参加し、無事故無災害を全員で誓った。

次世代モデル情報 収集など事業計画

中部地区電線共同
溝技術検討協議会



中部地区電線共同溝技術検討協議会 酒向秀次会長は13日、名古屋市内で2018年度定時総会を開いた。次世代電線共同溝の施設展示をはじめとする18年度事業計画を決めた。

酒向会長「写真」は、国土交通省が策定した無電柱化推進計画で数値目標や具

体的施策が盛り込まれたことなどを説明した上で、「無電柱化推進に向けた追い風だ。協議会としても積極的にPRをしていく」と強調。また、浅層埋設や小型ボックス活用、直接埋設方式の採用、財政支援などの計画にも触れ、「東京都をはじめ、地方自治体でも取り組みが活発になっている。各行政からの要請に対応できるよう、技術改善への取り組みを強化する必要がある」との見解を示した。

18年度事業では、見学会の開催や次世代モデル設備の情報収集などを行う予定だ。総会後には、国交省名古屋国道事務所の伊藤博文副所長による講演会も行われた。

河合社長「写真」は「西日本の豪雨災害は甚大な被害をもたらした。建設業の役割を再確認し、万が一の地域で自然災害が発生したら皆さんの力が必要になる」と話し、「建設現場で危険を取り除くのは不可能だが、安全意識が高ければ

事故は防げる。無事故無災害で来年再会しよう」と呼び掛けた。

大会では安全表彰で、個人や優良協力店社などに表彰状を手渡した他、安全パトロールの結果の報告、ミカワリコピー販売の天下智氏を招き「建設業のBCP」

現場での安全管理もこのことが重要。大会を契機に1件も事故を起こさないという決意で仕事に取り組みたいとあいさつした。

大会では、安全表彰で安藤徹さんと岩崎亮介さんを表彰した他、安全スピーチ、総務労働安全衛生管理者の尾崎泰洋部長からの報告、事故事例発表、交通安全宣言、安全合唱を行った。



岡田建設 豊川市、岡田社長は13日、2018年度の労働安全衛生大会を豊川市内で開いた。約100人が参加し、無事故無災害を全員で誓った。